

ラムサール条約湿地の登録に向けて

本市では、ハチゴロウの戸島湿地を核とした円山川下流域をラムサール湿地として登録することを目指し、10月28日(火)から11月4日(火)まで韓国昌原市チャンウォンで開催された第10回ラムサール条約締約国会議(COP10)の関連事業に市内の小学生を派遣するとともに、豊岡市長やNPOも参加し、PRを行った。

1. KODOMOラムサールへの参加

《参加者》

No.	氏名	ふりがな	年齢	性別	備考
1	水嶋 萌	みずしま もえ	12	女	小坂小学校6年
2	森田 愛	もりた あい	12	女	小坂小学校6年
3	児島 麻由	こじま まゆ	11	女	城崎小学校5年
4	篠原 由華子	しのはら ゆかこ	11	女	城崎小学校5年
5	高宮 岳人	たかみや がくと	11	男	城崎小学校5年

※引率者 城崎小学校教諭 谷垣 茂彦 (たにがき しげひこ)

《概要》

韓国の3つの大湿地(ウポ沼、チュナム貯水池、ナクトンガン湿地)を訪問するとともに、参加者同士が湿地に関するそれぞれの地域での取組みを発表し、意見交換と交流を行った。

《日程》

【1日目】10月27日(月)

午前 昌原市テウォン小学校との交流 → 豊岡の取組み発表
 午後 ウポ沼・ウポウエットランドエコロジーセンター見学
 夕方 昌原市主催ウェルカムパーティー

【2日目】10月28日(火)

午前 チュナム貯水池見学
 ラムサール文化センター見学
 午後 昌原市内見学(ラムサール条約締約国会議議場含む)

【3日目】10月29日(水)

午前 ナクトンガン湿地センター見学
 午後 ナクトンガンエコツアー
 交流プログラム → 豊岡、鳥取、滋賀、プサンの取組み情報交換

《発表内容》

豊岡で行われているコウノトリ野生復帰の取組み、コウノトリの学習を通じてわかったことを紹介し、自然豊かな「ウエットランド」豊岡盆地の大切さを訴えた。

(※パワーポイント内容は別に添付)



ナクトンガン湿地をバックに



豊岡の取組みを発表



食文化にもしっかり触れ



友達もたくさんできました

《子どもたちの感想Q & A》

Q) 韓国の湿地はどうだった？

海かと思うくらい広がった。ごみが一つもなくキレイで、水鳥もたくさんいた。湿地に対するイメージが全く変わった。

Q) 日本と比較してどうだった？

韓国の風景は日本ととても良く似ていた。田んぼや畑があり、円山川に似たところもあって、コウノトリがいるかもしれないと思った。見学した湿地にはサギの仲間もいて、コウノトリも舞い降りられると思った。

Q) 参加した感想は？

行く前は、豊岡にコウノトリがたくさん増えればいいなと思っていたけど、韓国の人が「韓国にもコウノトリが来てほしい」と言うのを聞き、韓国や世界中でコウノトリが暮らせるようになればいいなと思えるようになった。

Q) 韓国で友達はできた？

滋賀や鳥取など、日本から一緒に参加した子と仲良くなった。今後もこれをきっかけに交流できれば良いと思う。韓国の子もとはたくさんしゃべることはできなかったけど、発表を通じてそれぞれの取組みがわかった。

Q) これからどんな取組みをしたい？

- ・ビオトープやコウノトリ育む農法を増やしたい。
- ・ハチゴロウの戸島湿地を、ごみのない、コウノトリや生きもののいっぱいいる湿地にして、世界の人に紹介したい。友達になった子たちが来たら、コウノトリの話をわかりやすくしてあげたい。

2. 世界NGO湿地会議への参加

《参加者》

- ・NPOコウノトリ湿地ネット9名（うち、県立コウノトリの郷公園研究者1名）
- ・豊岡市職員同行1名

《概要》

- ・COP本会議に先立ち、湿地保全に取り組む世界のNGOが結集（31カ国400名）して情報交換が行われた。このような取組みは今回が初めてのこと。
- ・特に、“水田稲作”による湿地のWise use（賢明な利用）が重要議題として取り上げられた（→COP本会議では「水田決議（DR31）」が採択）。また、各地でのUnwise use（賢明でない利用）の事例も多数報告された。
- ・今後、NGO同士が国際的ネットワークを強化することを確認し、COP本会議に対してNGOからの共同声明文を採択した。

《日程》

【1日目】10月26日（日）

- 午前 世界NGO湿地会議（Session1 水田のWise use）
- 午後 世界NGO湿地会議（Session2,3 湿地のWise useとUnwise use）
- 夕方 交流会

【2日目】10月27日（月）

- 午前 世界NGO湿地会議（Session4,5 共同声明文協議）
- 午後 セマングム干拓地視察

【3日目】10月28日（火）

- 午後 セマングム干拓地視察
- 午後 ウポ沼・ウポウェットランドエコロジーセンター視察

《活動内容》

世界NGO湿地会議での議論に加わるとともに、持参したポスターやパンフレットでコウノトリの取組みをPRした。



世界各国NGOの議論の場に



豊岡の市民も加わりました



ポスターやパンフレットで



豊岡の取組みをアピール



広大なセマンガム干拓事業も視察しました

《感想（同行者による）》

- ・海外で行われる国際的な会議の場に、豊岡から9人もの市民（ごく普通の市民）が参加されていることに感動を覚えた。
- ・「乱開発で失われていく湿地を守る。経済発展のみ追い求める政府や企業体に物申す」という全体的な論調の中で、コウノトリをシンボルに人と自然の共生を目指し、さまざまな立場の人々が入り組みながら Wise use に取り組む豊岡は異彩を放っていると感じた。
- ・こうした取組みをしっかりと発信し、その流れをリードしていくことが豊岡の責務であり、ラムサール条約湿地への登録に向かう最大の意味であることを実感した。

3. 各種サイドイベントへの参加

《参加者》

- ・中貝市長、豊岡市職員同行1名

《概要》

- ・COPに関係する要人と面談するとともに、本会議展示ブースや各種サイドイベントにおいて豊岡の取組みをPRした。

《日程》

【1日目】10月29日（水）

午後 豊岡からの子ども派遣団との面談

【2日目】10月30日（木）

午前 日本国政府主催サイドイベント参加（新規登録地 登録証授与式）

慶尚南道知事との面談（チョナム貯水池・ウポ沼の農業者も同席）

午後 慶尚南道グリーン21会議主催サイドイベント

『湿地統治に関する国際フォーラム』でのプレゼン（約100名、英語20分）

【3日目】10月31日（金）

午前 昌寧郡守との面談

トキ飼育施設、ウポ沼・ウポウエットランドエコロジーセンター視察

午後 鎮海市長との面談

日韓ラムネット主催サイドイベント『世界の水田』参加

【4日目】11月1日（土）

午後 WWF ジャパン・ラムサール条約湿地を増やす市民の会主催サイドイベント

『条約湿地の増加、賢明な利用、湿地再生を目指す日本のNGO、自治体、国会議員の会の取組み』でのプレゼン（約100名、英語20分）

《発表内容》

コウノトリ野生復帰の取組みを通じた湿地の Wise use について「豊岡市環境経済戦略」の実例等を交えて紹介し、豊岡をPRした。

（※パワーポイント内容は別に添付）



慶尚南道知事・農業者らと面談



豊岡の取組みを映像とともに伝えました

《感想》

～市長から～

第10回ラムサール条約締約国会議（COP10）関連について

○ラムサール条約

正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」

- ・地球規模での自然資源の保全と持続可能な利用に関する初の国際条約。（1971年）
- ・当初は「保全」が中心課題であったが、近年は「賢明な利用（Wise use）」が基本理念。

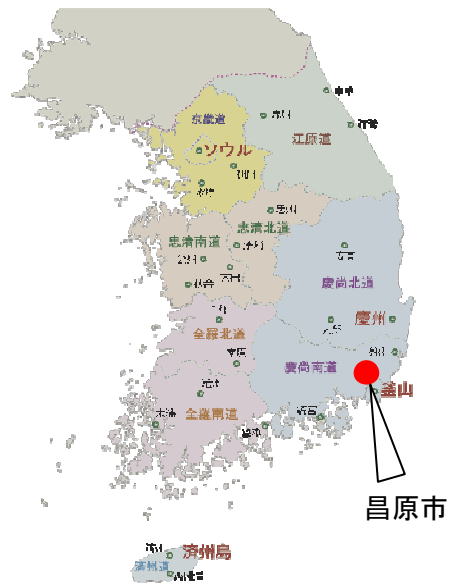
○COP10 ※COP＝締約国会議(Conference of Parties)

とき 2008.10.28（火）～11.4（火）

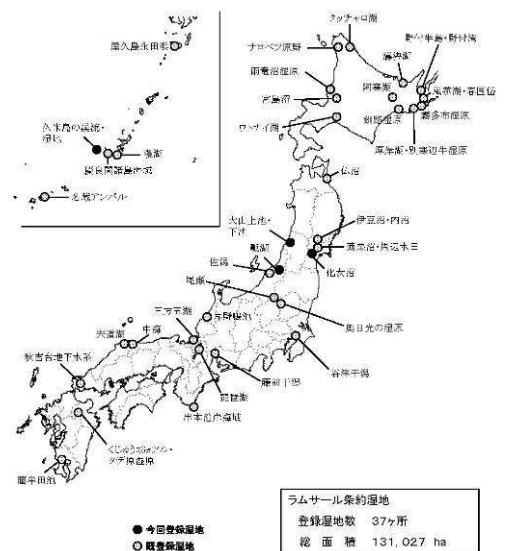
ところ 韓国慶尚南道 昌原市（チャンウォン）

【COPの歴史】

第1回	1980年	イタリア（カリアリ）
第2回	1984年	オランダ（フローニンゲン）
第3回	1987年	カナダ（レジアイナ）
第4回	1990年	スイス（モントルー）
第5回	1993年	日本（釧路）
第6回	1996年	オーストラリア（ブリスベン）
第7回	1999年	コスタリカ（サンホセ）
第8回	2002年	スペイン（バレンシア）
第9回	2005年	ウガンダ（カンパラ）
第10回	2008年	韓国（昌原）



○ラムサール条約湿地位置図



○日本の取組み

- ・1980年に条約批准。釧路湿原（北海道）を最初の登録地として締約国となる。
- ・登録湿地は、COP9までに13箇所。その後20箇所増えて33箇所に。
- ・2007年度閣議決定された第三次生物多様性国家戦略で、2011年までに国内の条約湿地をさらに10箇所増加させる数値目標が示された。
- ・今回のCOP10で国内4箇所を追加。豊岡市は、ハチゴロウの戸島湿地を核とした円山川下流域を対象に、2012年開催予定のCOP11（ルーマニア）における登録を目指す。

○豊岡の取組み

- ・国会議員による「ラムサール条約登録湿地を増やす議員の会」（会長：川口順子氏）への働きかけ →本年5月10～11日に豊岡視察が実現 →COP10での市長プレゼンが実現
- ・COP10への参加
 - ①KODOMOラムサールへの参加（市内小学生5名派遣）
 - ②世界NGO湿地会議への参加（市内NPO9名）
 - ③各種サイドイベントへの参加（市長）